

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の名称

「でらっと能代活性化」～産業活性化による地域再生プラン

2 地域再生計画の作成主体の名称

能代市

3 地域再生計画の区域

能代市の全域

4 地域再生計画の目標

能代市は、平成 18 年 3 月 21 日に旧能代市、旧二ツ井町が合併してできた人口 6 万 3 千人の新しい市である。秋田県の北西部に位置し、総面積 4 2 6 . 7 4 k m²を有する。このうち約半分が山林と原野で占められており、田畑の農地は約 2 0 % と豊かな自然と農業地域という特徴を持っている。市の北部は、世界遺産である白神山地と隣接しており、白神山地観光の玄関口の機能を有する。

当市を代表する産業は、製造業と農業であるが、両産業とも衰退が著しい。製造業のなかでも特に木材産業は、古くから北前船などの日本海交易の要衝として、また米代川の水運を利用した秋田杉をはじめとする木材の集積地として栄え、機械製材の発展により東洋一とうたわれるほど発展したが、近年は天然杉の枯渇や海外からの安い輸入材の増加、国内での木材需要の減少等から、木材産業は深刻な不振に陥っている。

また、農業は米代川流域の肥沃な平野を中心に、農地面積の約 8 割である稲作が主体であり、農業県秋田県においても県下 6 位の収穫量となっている。また、野菜は「みょうが」「ねぎ」「キャベツ」「アスパラガス」などの生産が盛んで、特に「みょうが」は、栽培面積で日本一を誇る。しかし、農業従事者の高齢化や若者の農業離れによる後継者不足、米においては近年の価格下落によって、農業従事者の人数は減少の一途を辿っている。

一方、雇用状況において、能代管内の有効求人倍率は、平成 19 年 4 月では 0.42 倍となっており、過去 3 カ年の平均でも、平成 16 年度 0.55 倍、平成 17 年度 0.47 倍、平成 18 年度 0.40 倍と秋田県平均を大きく下回っている状況にある。平成 16 年の能代市の従業員数は 24,111 人であるが、平成 13 年の調査から 2,259 人減少しており、深刻な状況にある。

このような厳しい状況の中で、観光分野においては、白神山地の世界遺産登録の影響もあり、少しずつではあるが観光客数が増加しており宿泊率も向上している。

さらに、二ツ井地域までの高速道路延伸による交通利便性の向上や、秋田わか杉国体開催を契機としたホテルの進出計画がある等、観光産業とそれに関連するサービス業を中心とした第3次産業全体の活性化が期待されているところである。

当市ではこれを絶好の契機ととらえ、18年度地域雇用創造調査研究事業を活用し、食と観光を中心とした地域産業及び雇用の可能性を調査した結果、「でらっと能代活性化」をテーマに観光振興を軸に、製造業や農業等他産業と連携した地域一体による産業振興と雇用創出の推進を予定している。推進においては、観光、物産、サービス業の3つを構想の柱に考えている。

これらの構想の柱に対する施策により、その担い手である、接客や販売、観光ガイドなどのサービス業における人材を中心とした雇用の創出を見込んでいる。雇用創出に向けては、地元「能代」を語れる知識と接客スキルを有するサービス人材の育成、商品開発や豊富な商品知識を持つセールスエンジニアなどの技術・営業職人材の育成、観光ツアーの企画立案や新事業・新商品創出に向けた戦略立案能力や地域内外の連携を推進するマネジメント力を有するリーダーシップ人材の育成等が必要である。これら地域活性化の鍵となる人材を育成し、観光客の増加による観光産業の振興、物産販売の拡大、商業を中心とするサービス業の振興に取り組むとともに、企業立地の促進などにより、「地域の特性を活かした活力ある個性豊かな産業のまち」の実現を図っていくものである。

人口推移（単位：人、％）

	H 1 2	H 1 7	増減率
能代市	65,237	62,858	3.6%
旧能代市	53,266	51,703	2.9%
旧二ツ井町	11,971	11,155	6.8%

（国勢調査）

世帯数推移（単位：人、％）

	H 1 2	H 1 7	増減率
能代市	22,744	23,178	1.7%
旧能代市	18,814	19,249	2.3%
旧二ツ井町	3,930	3,889	1.0%

（国勢調査）

年齢別人口推移（単位：人、％）

	H 1 2	H 1 7	増減率
年少人口	8,436	7,468	11.5%
生産年齢人口	40,226	36,987	8.1%
老年人口	16,572	18,396	11.0%
計	65,234	62,851	3.7%

（国勢調査）

産業別就業人口の推移（単位：人、％）

	H 1 2	H 1 7	増減率
第 1 次産業	3,097	2,940	5.1%
第 2 次産業	9,492	8,163	14.0%
第 3 次産業	18,751	18,297	2.4%
分類不詳	25	72	188.0%
計	31,365	29,472	6.0%

（国勢調査）

製造業事業所数、従業者数及び製品出荷額の推移（単位：箇所、人、万円、％）

	H 1 6	H 1 7	増減率
事業所数	196	195	0.5%
従業者数	4,124	4,112	0.3%
製造品出荷額等	4,831,077	5,155,507	6.7%

（工業統計調査）

観光客数の推移（単位：人、％）

	H 1 6	H 1 7	増減率
能代市	1,322,579	1,389,915	5.1%
旧能代市	1,083,055	1,152,097	6.4%
旧二ツ井町	239,524	237,818	0.7%

（秋田県観光統計）

目標達成の指標

雇用の拡大に関する指標

地域雇用創造推進事業において

- ・事業を利用する求職者等の就職件数の合計 200人

観光客数の目標指標

- ・観光客数 平成17年度実績 約139万人
平成21年度目標 約168万人（約20%増）

新設、増設企業数の目標指標

- ・新設、増設企業数 過去3カ年（平成16～18年度）実績 2社
今後3カ年（平成19～21年度）目標 3社

5 目標を達成するために行う事業

5 - 1 全体の概要

観光・物産・サービス業の3つを構想の柱として、観光については、体験事業をはじめ観光メニューの充実による観光客の滞在時間の増大と消費拡大を図る。また、観光・物産を絡めた効果的な情報発信を行う。

物産については、販売拠点の創出と情報発信を行い、販売の拡大を図るとともに、

産業連携により、能代独自の新たな特産品の開発を行い販売の拡大と産業の活性化を推進する。

サービス業については、お客様をもてなす接客力を向上させ、観光客、地域住民の満足度向上とリピーターの確保により商業の活性化を図る。

これら3つの構想の柱とあわせ、市の産業全体の振興を図るため、リサイクルポート能代港の利活用、企業立地の促進、中心市街地の賑わい創出など、市独自の取組みを実施することにより、雇用機会の拡大による地域の活性化を図る。

5 - 2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業 該当なし

5 - 3 その他の事業

5 - 3 - 1 「地域雇用創造推進事業」(B 0 9 0 2)

事業実施主体：能代市地域雇用創出協議会

構成員 能代市、能代商工会議所、二ツ井町商工会、能代観光協会、
二ツ井町観光協会

実施する事業の内容

(1) 雇用拡大メニュー

観光企画提案人材育成セミナー

能代観光協会、二ツ井町観光協会、観光関連事業者に対し、能代市内の観光資源を連携させた新規ルートの開発やグリーンツーリズム、プレスツアー等の企画に向けて、先行地区の講師を招き、実践を通じた企画提案スキルの研修会を実施する。

地域リーダー育成セミナー

地域連携による産業振興と雇用創出を目的に、各事業所の中堅社員、若手経営者などを対象に、現状分析、戦略立案能力やリーダーシップ、コーディネート力の向上を図るためのセミナーを実施する。

(2) 人材育成メニュー

IT人材育成セミナー

各産業分野においてITの基礎能力を持つ求職者を対象に、情報発信のためのホームページの作成や閲覧者を増やすための運営ノウハウの研修会を実施する。また、ネットショッピングによる販路拡大とその従事者の雇用に向け、サイト立ち上げ、運用の技術及び、サイト経営ノウハウを習得する研修会を開催する。

創業者・起業家育成セミナー

新規創業・起業に向けた事業家ノウハウや経営ノウハウ取得のために、講師を招きセミナーを開催する。

おもてなし人材育成セミナー

求職者をはじめ、地域住民や消費者、観光客と直接対話する販売員や飲食店従業員、観光業従事者等の求職者を対象に、地域の自然・歴史文化の知識や接遇スキルの向上を図るためのセミナーを実施する。

販売・営業専門職育成セミナー

各産業分野の営業担当や販売担当者等の求職者を対象に、商品知識、商品説明力を身に付けるとともに、企画、提案、プレゼンテーション能力の向上を図るため、販売現場の体験を通じた実践的なセミナーを実施する。また、市場動向に即した事業展開に向けた、商品管理・販売管理などの業務知識、業務分析能力やマーケティング知識の向上を図るための研修会を実施する。

(3) 就職促進メニュー

新商品開発講習会

各産業分野の商品開発を考える求職者を対象に、マーケティング能力、加工技術、商品開発力の向上を図るためのセミナーを実施すると同時に、先進地域の講師の支援を受け、能代を題材にした新商品創出に向けた講習会を開催する。

コミュニティビジネス研修

商店街の空き店舗などを研修会場とし、コミュニティレストランやコミュニティカフェ創業に向けて、講師の指導を受けながら、実践を通じたノウハウ取得を行う。

就業支援セミナーの開催

求職者の社会人としての準備度を高めるため、ビジネスマナーを始めとしたビジネススキルセミナーを開催する。実施においては、能代市内の企業紹介及び、地域事情、経済動向を踏まえ、より実態にあった就業支援を実施する。

就職面接会の開催

各セミナー等を利用した事業者、求職者を中心とした就職面接会を実施し、就業機会の拡大と充実を図り、雇用の拡大に結びつける。

5 - 3 - 2 「支援措置によらない独自の取組」

(1) 産業振興に関する取組

・企業開発事業

本市工業の集積拡大や産業構造の高度化、雇用機会の拡大のため立地環境が整備されている能代工業団地を中心に企業立地の促進を図る。

・能代港利活用促進事業

昨年末リサイクルポートの指定を受けた能代港の利活用を促進するため、国、県及び民間企業と連携を図りながらポートセールスや港湾利活用に関する

る幅広い情報収集を行うとともにC I Q機能の強化や荷役設備の整備促進を国、県に要望していく。

- ・中小企業対策事業

中小企業関係団体への支援や企業情報の収集のほか、中小企業で事業資金を必要とする者に対し融資斡旋を図り、企業の安定、業界の振興を図る。

(2) 観光振興に関する取組

- ・観光振興事業

世界自然遺産に登録された白神山地をはじめ、きみまち阪や風の松原など、豊かな自然と、能代七夕に代表される伝統行事などの観光資源の情報提供、県内外における宣伝活動、イベントの支援、関係機関との連携などにより観光客を誘致し、地域の活性化を図る。

また、郷土料理の紹介と伝承、また地元食材を使った新しい料理の発掘を目的とした食彩人事業に16年度から取り組んでいるほか、19年度からは、雄大な白神山地を日本海から望む白神クルーズの運行を行うなど、新たな観光事業への取組みにより、能代のPRとともに市の活性化を図る。

(3) 物産振興に関する取組

- ・物産振興事業

本市の地場産品を首都圏はじめ各種物産展で展示販売、あわせて観光資源の紹介宣伝を行い、本市への誘客と販路拡大を図る。

(4) 商業振興に関する取組

- ・空き店舗流動化支援事業

中心市街地の空き店舗の取得者や賃貸者に対して助成を行うことで、不動産の流動化を促進し、商店街の活性化に結びつける。

- ・商業活性化総合支援事業

中心市街地の空き店舗の解消と賑わいあふれる商店街づくりを推進するため、空き店舗の利活用、店舗の継承、中小企業者への経営支援に対し助成を行う。

- ・商工会議所等支援事業

地域の総合経済団体として地域の特性と資源を生かした魅力ある「地域おこし」のため、地域経済の活性化と自立的発展に努め、企業の経営改善及び情報化推進、産業基盤強化のための活動に支援する。

6 計画期間

認定を受けた日から平成22年3月末まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4に掲げる目標の指標ごとに、能代市地域雇用創出協議会において、アンケート調査や電話連絡等により雇用の実績など目標の達成状況についての調査、検証を行い、取組みに対する評価を行う。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし